

2018年3月22日

公立大学法人秋田公立美術大学

J R 東 日 本 秋 田 支 社

公立大学法人秋田公立美術大学と東日本旅客鉄道株式会社秋田支社との 包括的連携に関する協定の締結について

公立大学法人秋田公立美術大学（理事長：霜鳥 秋則）と東日本旅客鉄道株式会社秋田支社（執行役員 秋田支社長：菊地 正）は、このたび包括的連携に関する協定を締結します。

次のとおり締結式を行いますので、趣旨をご理解いただくとともに、当日の取材について、よろしく願いいたします。

1 協定名

公立大学法人秋田公立美術大学と東日本旅客鉄道株式会社秋田支社との
包括的連携に関する協定

2 協定趣旨

本協定を締結する二者は、相互の連携と協力のもと、秋田県をはじめとする東北地方の持続的発展と人材育成に関する取組を推進する。（別紙参照）

3 締結式について

(1) 日時：平成30年4月5日（木） 10時00分から

<当日次第>

- ・出席者紹介
- ・協定概要説明
- ・協定書署名
- ・協定署名写真撮影
- ・あいさつ（霜鳥理事長、菊地支社長）
- ・質疑応答
- ・写真撮影

(2) 会場：公立大学法人 秋田公立美術大学 附属図書館

【別紙】 秋田公立美術大学とJR東日本秋田支社との包括的連携について

1 駅を中心としたまちづくりに関する事項

○ ノーザンステーションゲート秋田の取組み

- 秋田杉等の県産材を活用した顔づくり
- 秋田駅における情報発信等



©SATOSHI ASAKAWA

○ 駅・駅周辺の活性化に関する取組み

- 活性化に資する産学連携の取組み



例)新屋駅小さな図書館

2 沿線の活性化に関する事項

○ デザインを通じた沿線の活性化

- 活性化のツール・プロダクト等のデザイン
- 観光や旅の新たなデザイン等



例)はたちのこまち弁当デザイン

3 授業演習・共同研究に関する事項

○ 授業演習や共同研究における産学連携

- デザイン演習・芸術演習等における連携
- ソーシャルデザイン・地域づくり等の共同研究



4 次世代の地域づくりを担う人材育成に関する事項

○ 学生の地域づくりビジネスマインドの醸成

- JR秋田支社へのインターンシップ受入れ

○ 社員のデザイン意識の醸成

- デザイン講座・授業等への社員の参加

最近の主な連携取組み

主なプロジェクト名	連携内容
秋田駅木質化実証事業 (2015～)	企画・実施: 小杉先生(景観デザイン専攻)
ノーザンステーションゲート秋田 (2016～)	計画・デザイン: 小杉先生(景観デザイン専攻) 秋田県ツール: 今中先生(ものづくりデザイン専攻) プロモーション映像制作: 石山先生(景観デザイン専攻) 仮囲い装飾プロジェクト: 萩原助手・建築デザイン専攻学生 7連サインエージ・メディアアート: 萩原先生(複合芸術研究科) 1周年イベントビジュアル: 水田先生(コミュニケーションデザイン専攻)
新屋駅 小さな図書館プロジェクト (2016～)	企画・実施: 田村助手(景観デザイン専攻)
はたちのこまち弁当パッケージ (2017)	デザイン協力: 官能先生(コミュニケーションデザイン専攻)
大学院 複合芸術演習 (2017)	秋田駅周辺をテーマにJRが演習協力